

株式会社マルマエ

2026年8月期

第3四半期 決算 補足資料

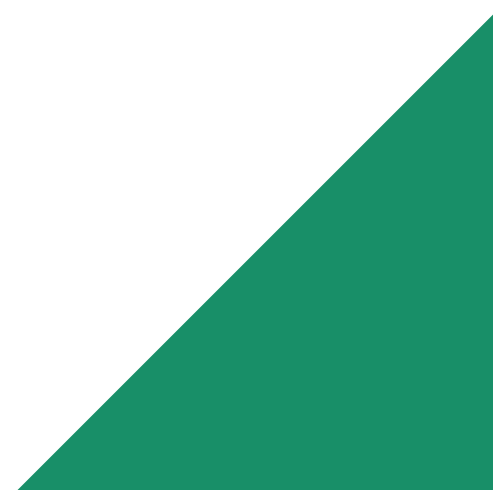
2026年7月3日

道を究め、未知に挑む。

marumae

総合力で未来を拓く

半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

※2026年8月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年8月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。これに伴い対前年同期増減率についても反映後の数値にて計算しております。

PL

	2025年8月期 第3四半期累計期間		2026年8月期 第3四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
売上高	7,269	100.0	14,022	100.0	92.9
売上原価	4,917	67.7	9,522	67.9	93.6
売上総利益	2,351	32.3	4,500	32.1	91.4
販売管理費	914	12.6	1,855	13.2	102.8
営業利益	1,436	19.8	2,644	18.9	84.1
経常利益	1,325	18.2	2,460	17.5	85.7
特別損益	0	0.0	1,013	7.2	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	936	12.9	2,431	17.3	159.7
EPS (円) ※1	36.98	—	95.69	—	—

※1・・・2026年4月1日付で実施した株式分割(1:2)が、前期首に実施されたと仮定して算定

Point

売上高

- **14,022**百万円
(セグメント別の詳細はP5~)

売上原価

- 材料費：**4,517**百万円
- 外注加工費：**1,157**百万円
- 労務費：**2,291**百万円
- 減価償却費：**775**百万円

販売管理費

- 販管人件費：**770**百万円
- のれん償却額：**143**百万円
- 顧客関連資産償却額：**147**百万円
- 租税公課：**138**百万円
- 研究開発費：**127**百万円

営業外費用

- 支払利息：**178**百万円

特別利益

- 補助金収入：**1,013**百万円

1. 決算概要

B/S分析

※2026年8月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年8月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

B/S

(百万円)

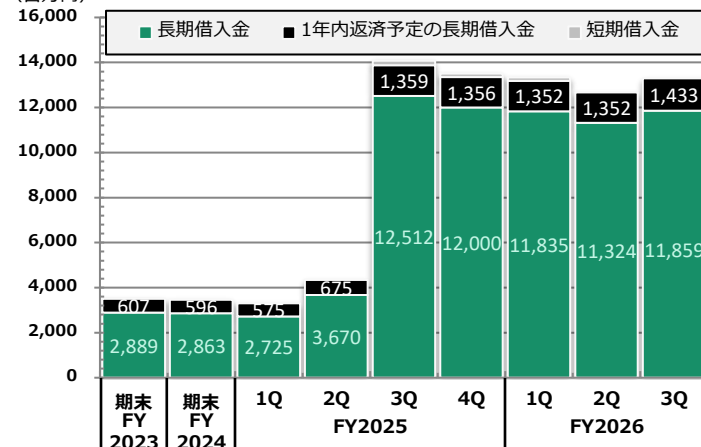
	2025年8月期 会計年度末	2026年8月期 第3四半期末
流動資産	10,477	18,591
現金及び預金	4,252	10,857
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	3,407	3,883
固定資産	15,391	15,369
土地・建物及び構築物（純額）	4,687	4,815
機械装置及び運搬具（純額）	4,387	4,204
のれん等	5,459	5,168
流動負債	4,623	5,930
有利子負債（短期）※1	1,506	1,433
固定負債	13,105	12,848
長期借入金	12,000	11,859
負債合計	17,728	18,778
純資産合計	8,140	15,181
総資産	25,869	33,960

※1・・・有利子負債（短期）：短期借入金＋1年内返済予定の長期借入金

Point

資産	33,960 百万円 <ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産：9,688百万円 現金及び預金：10,857百万円 のれん等：5,168百万円
負債	18,778 百万円 <ul style="list-style-type: none"> 長期借入金：11,859百万円 買掛金：2,350百万円
純資産	15,181 百万円 <ul style="list-style-type: none"> 利益剰余金：7,016百万円 自己資本比率 31.5% → 44.7%

(百万円)



2. セグメント情報

セグメント分類



精密部品

- マルマエ 事業
- 半導体・FPD・その他

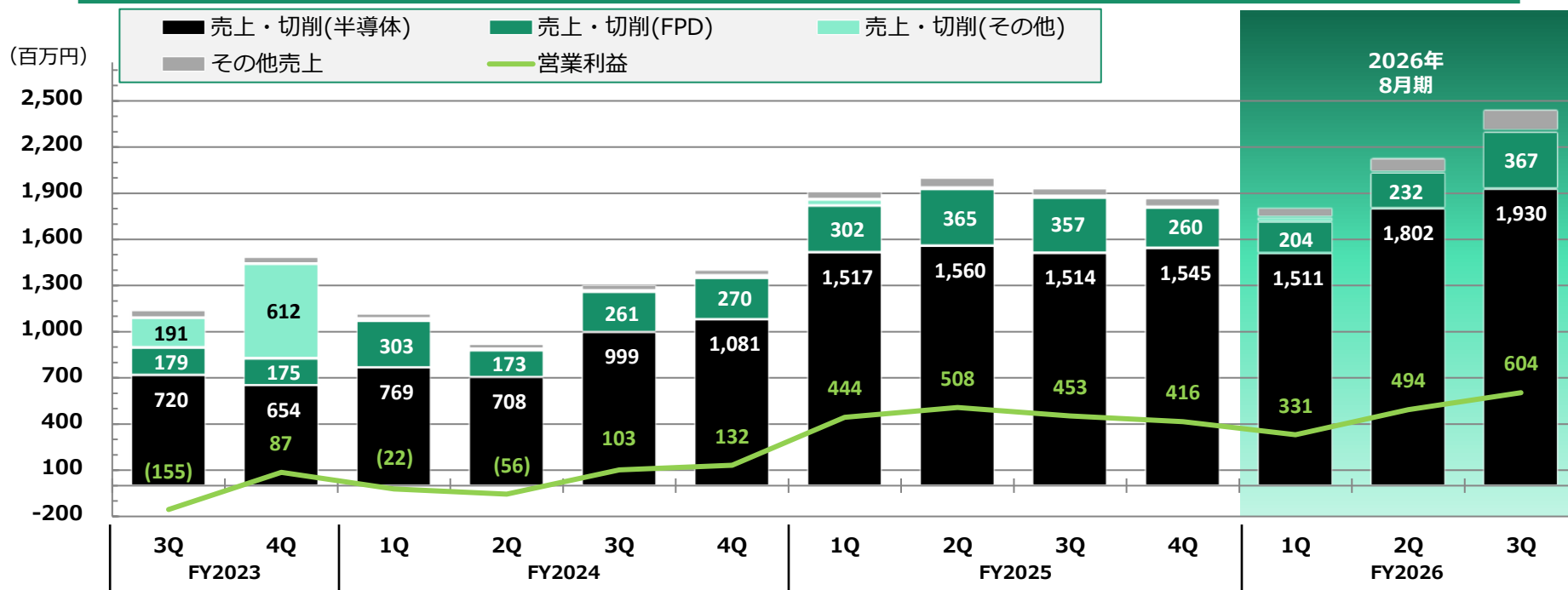


機能材料

- KMAC (KMアルミニウム) 事業
- IT器材・半導体装置部材・基礎素材

3. セグメント別概況

四半期業績の推移 (精密部品事業)



Point

半導体分野

- 5,244**百万円 (対前年同期: 14.2%増)
- ・ 四半期売上高は過去最高を更新
 - ・ 四半期受注も継続して過去最高更新

FPD分野

- 804**百万円 (対前年同期: 21.6%減)
- ・ 売上回復。G6、G8OLED向け案件豊富

その他分野

- 39**百万円 (対前年同期: 31.2%減)
- ・ 防衛案件引き合いあるも、余力なく進展なし

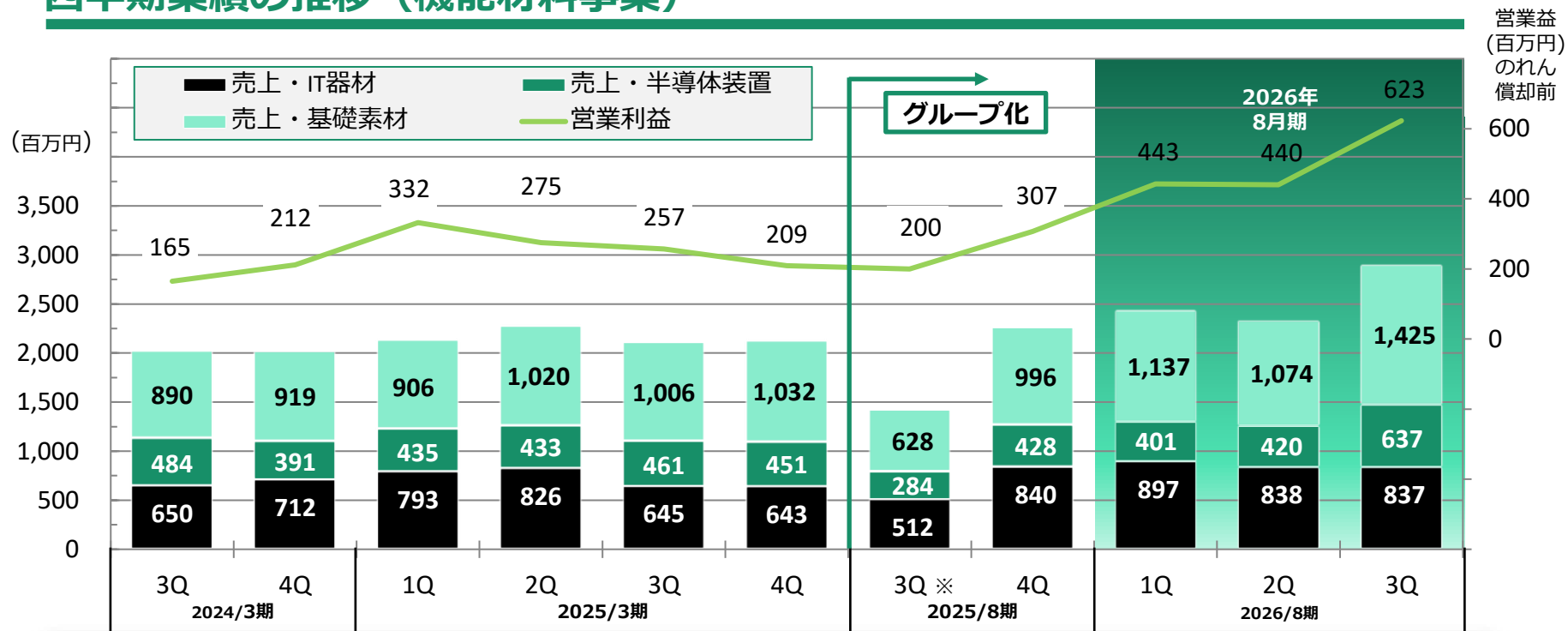
①売上高は、半導体・FPD共に増加

②損益面は売上拡大に伴い増加

- ・ 前期末比で受注損失引当金等は29百万円減少 (改善)
- ・ 稼働率向上で利益率回復

3. セグメント別概況

四半期業績の推移（機能材料事業）



Point

※前期3Q売上は4月5月の2か月間の数値

IT器材

2,573百万円

- ・ 超高純度のターゲット材高水準
- ・ CVD向け消耗材も堅調に推移

半導体装置部材

1,459百万円

- ・ 真空チャンバー在庫解消から大增産へ急転
- ・ 過去最高の市場環境続く

基礎素材

3,637百万円

- ・ HDD向け・電解コンデンサ向け素材共に好調

①売上高は半導体と基礎素材好調で増加

②損益面は半導体装置部材貢献で改善

- ・ 当初想定よりも全般的に好調な推移
- ・ 素材価格上昇の売価転嫁も利益貢献

4. 2026年8月期の業績予想

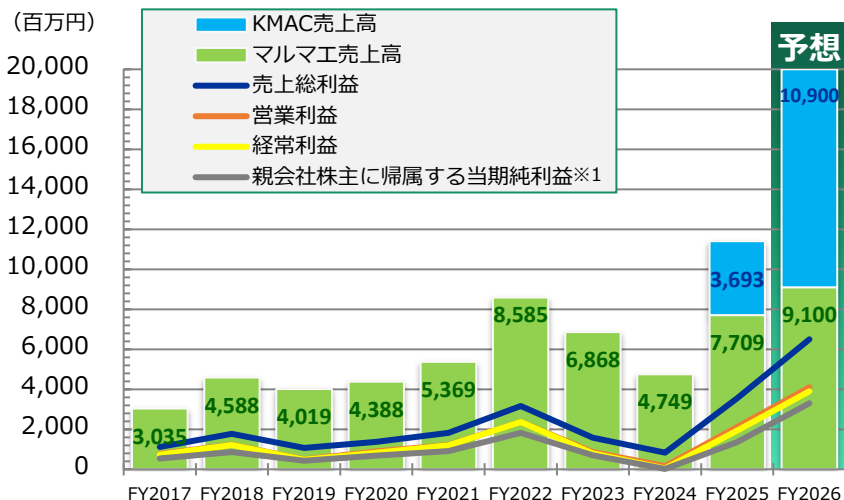
当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

業績予想

2026年8月期 連結業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円) ※
通期	20,000	4,100	3,900	3,300	126.56

半導体装置市場好調で通期見通しを上方修正

※2026年4月1日付で実施した株式分割(1:2)後の数値



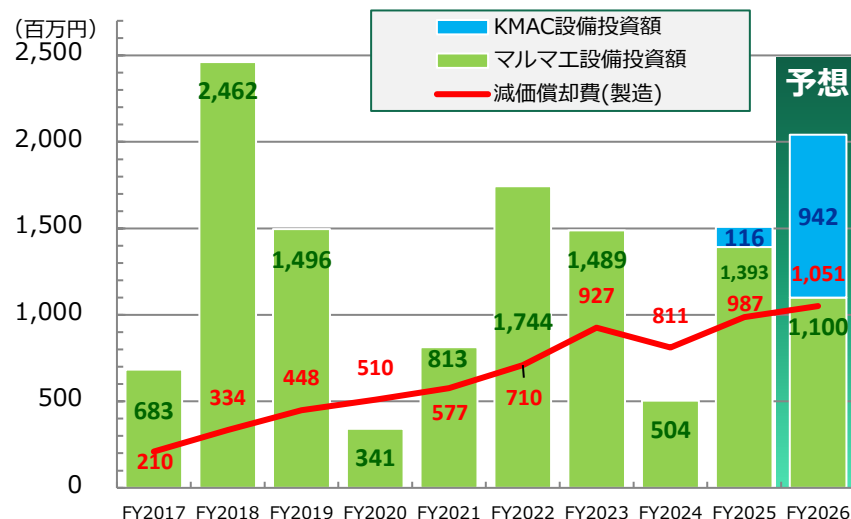
※1・・・FY2024以前は「当期純利益」

※FY2024以前は単体決算数値

※FY2025KMAC事業は2025年4月～2025年8月の数値

Point

- ✓マルマエ半導体四半期受注は過去最高
- ✓KMACの半導体向けも4Qには過去最高ペースへ
- ✓KMACは能力拡大の人員確保と設備投資急ぐ
- ✓マルマエ設備投資も中計より前倒し
- ✓設備投資加速し、来期全社で最大40億円投資準備
- ✓グループ全体で顧客への値上げ交渉実施



※設備投資額はFY2025までキャッシュフローベース、FY2026は取得ベース

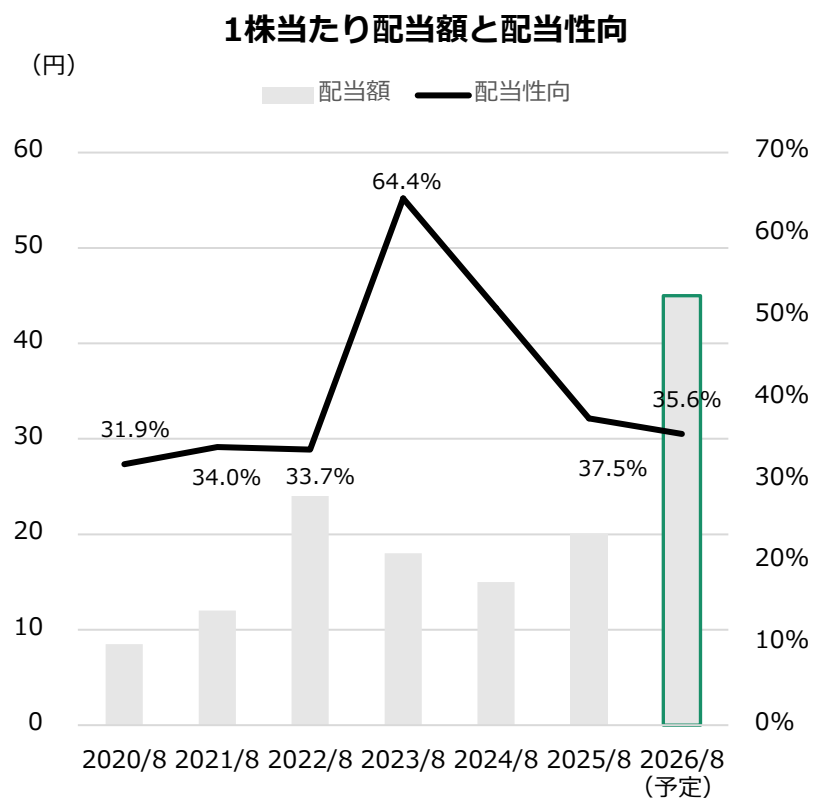
※FY2024以前は単体決算数値

※FY2025KMAC事業は2025年4月～2025年8月の数値

5. 2026年8月期の配当予想

配当

配当等 実績と予定



※ 2026年4月1日付で実施した株式分割(1:2)を反映して修正済み

配当政策

- 中期事業計画で35%以上の配当性向を予定
- 最低配当額 年30円(半期15円)から株式分割に伴い、年15円(半期7.5円)

株主優待

- 従来の100株を半年以上継続保有の株主様へオリジナルQuoカード1,000円分提供から ※1株式2分割に伴い200株以上2,000円分へ倍増
- ※1…株式分割に伴い、2026年4月1日以降は200株以上の継続保有が必要になりますのでご注意ください

当期配当

- 2026年8月期上期は38円/株(2分割前)
- 期末配当は、株式2分割後で26円/株に修正
- 企業成長に向けた投資と適度な資本効率を目指す配当政策を行っていく方針

6. オフリング

Topics

資金調達 新株発行及び自己株式処分等の資金調達を実施

- | | | | |
|----------------|----------|---------|-------------|
| 1. 新株発行 | 200万株 | 総調達額 | 58.48億円 |
| 2. 自己株式売出 | 70万株 | | |
| 3. 他既存株主売出 | 90万株 | | |
| 4. オーバーアロットメント | 317,200株 | 発行済み株式数 | 28,423,200株 |

資金使途

1. マルマエ設備投資等 2028年までの総額3,554百万円に対し20億円を充当
2. KMAC設備投資等 2028年までの総額2,959百万円に対し15億円を充当
3. KMAC株式取得資金等借入金の返済 前倒し返済41.5億円に対し23.4億円充当

効果 発行済み株式数増加と浮動株比率改善による新TOPIX残留可能性について

1. 初回定期入替の2026年10月の浮動株比率0.5程度（第三者割当の実施に伴い変動）
2. 2027年10月の再評価時の浮動株比率は0.6の見込み（今回PO反映）
3. 新TOPIX残留に必要な2026年8月の平均株価は2,810円前後と想定※

※2026年8月TOPIX4,000ポイント程度を想定

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

Company Profile

marumae

- 1988年 10月 マルマエ工業有限会社設立
- 1992年 T'sM'sR&D創業
オートバイ部品製造
現在のマルマエ事業
- 1997年 10月 R&D事業部として
マルマエに合流
- 2001年 4月 株式会社マルマエに改組
- 2004年 11月 グリーンシート銘柄指定
- 2006年 12月 東証マザーズ上場
- 2018年 12月 東証一部指定
- 2022年 12月 東証プライム移行

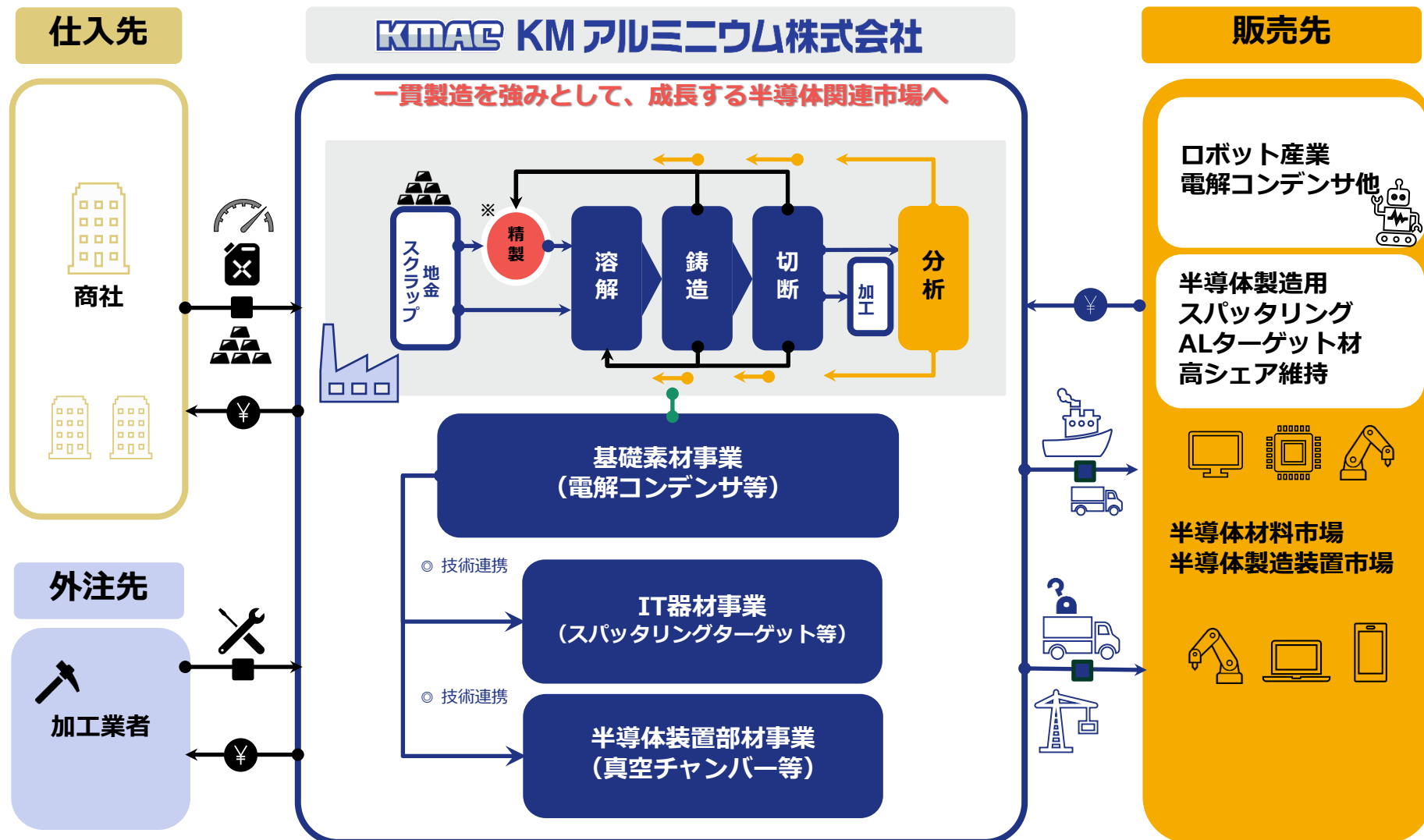
KMAC

- 1989年 2月 三井アルミニウム工業(株)鋳造部門を
三井グループの出資でスピンオフ
九州三井アルミニウム工業(株)を設立
- 1997年 9月 アルマイトクリーンルーム完成
- 2006年 12月 超高純度(5N)工場完成
- 2007年 6月 鋳物チャンバー用
「鋳物第3工場」完成
- 2015年 三井グループから
ケイエムジェイホールディングス2(株)へ株式譲渡
KMアルミニウム(株)へ商号変更

2025年4月
グループ化

機能材料 (KMAC) 事業モデル

永年の一貫製造で培われた総合力・シナジーを背景に、成長する半導体関連市場へ



※精製（純化）技術・・・偏析法の一つであるベシネー法により、アルミニウムの純度を上げる世界でも有数の技術。

機能材料 (KMAC) 事業モデル

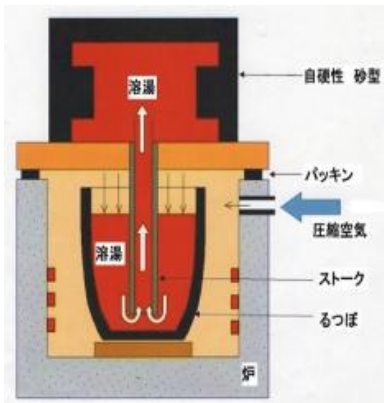
永年の一貫製造で培われた総合力・シナジーを背景に、成長する半導体関連市場へ

半導体向け真空チャンバー当社の優位性

背景

- 装置大型化とチャンバー搭載数増加
- 一般的に切削チャンバーは歩留り低くコスト高

低圧鑄造技術を駆使し
低コスト且つ高品質の鑄物製品供給



【低圧鑄造の仕組み】

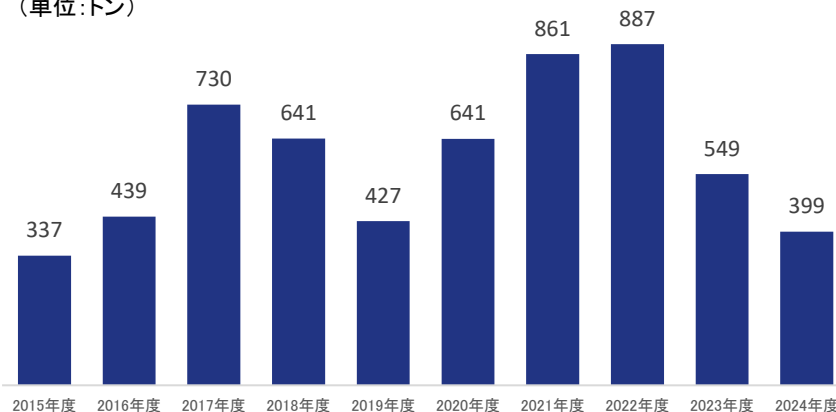
- ① 素材からの一貫製造を行っているため大型溶解炉・鑄造炉等の設備・インフラ保有
- ② 成分分析ノウハウを活用し、鑄物用合金を開発
- ③ 素材製造で培った溶湯管理技術

技術

- KMACでは、400kg以上の大型低圧鑄物製品の提供が可能！！

KMAC真空チャンバー販売量推移

(単位:トン)



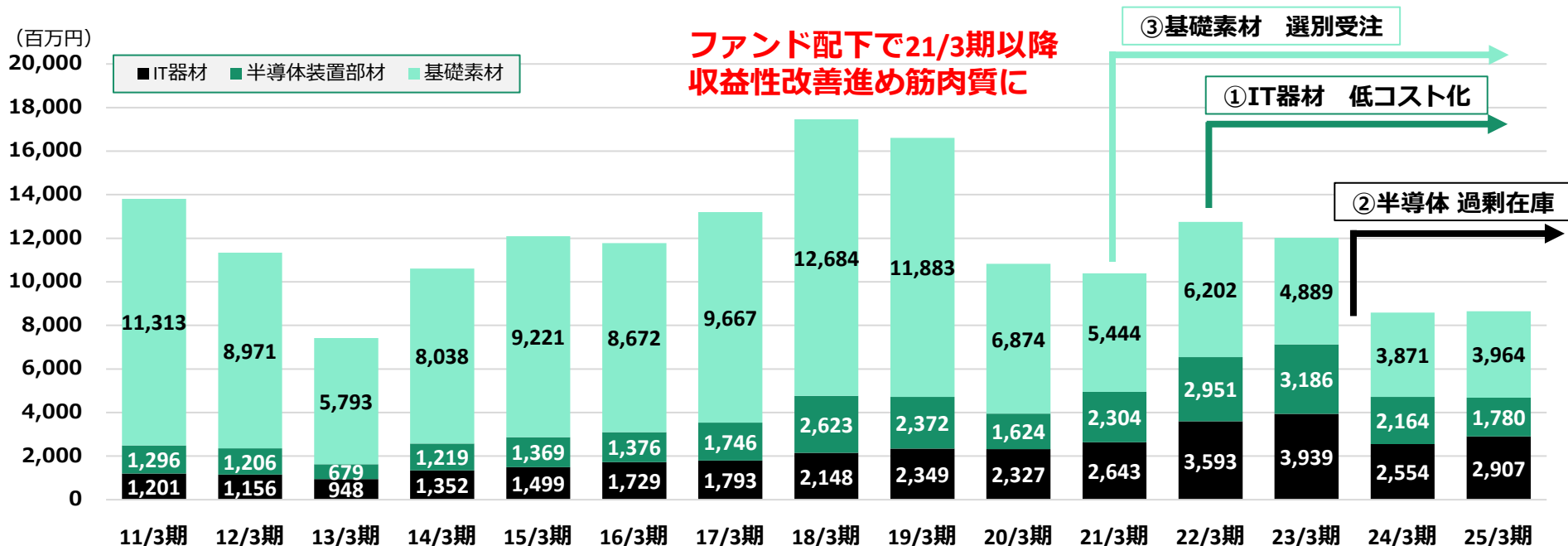
KMAC

近年は在庫調整影響受け
一時的な減少中

今後は、半導体装置需要増に加え、
低コスト且つ高品位の強みを活かし
新規顧客拡販中

機能材料 (KMAC) 事業 過年度業績

業績推移 (機能材料事業)



Point

IT器材

- 自社精製強化で競争力強化 高収益**
- 主にターゲット材向け消耗材
 - 22/3期以降の低コスト活動で高利益率化

半導体装置部材

- WFE市場に連動 高収益**
- 主に半導体エッチング装置の真空チャンバー
 - 24/3期以降は客先過剰在庫の影響続く

基礎素材

- 戦略的に低付加価値受注を低減 基盤**
- 現在は主に電解コンデンサ用やハードディスク用高純度アルミ。アルミスラブ材の小口販売も行う
 - 2021年以降の市況停滞期に選別受注本格化
 - 限界利益率は35%程度にとどまるが21/3期以前に比べ大幅改善

精密部品（マルマエ）事業モデル

顧客の主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています



主要工程（半導体）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
洗浄

（FPD）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
洗浄
イオン注入

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	31億9,097万円（2026年5月31日現在）
代表者	代表取締役社長 前田 俊一
連結子会社	KMアルミニウム株式会社
総従業員数 （連結）	632名（2026年月5月31日現在） 他 派遣社員57名
グループ 所在地	出水事業所 （本社） 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地
	高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保 3816番41
	関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
	KMアルミニウム 株式会社 （本社 工場） 〒836-0067 福岡県大牟田市四山町80番地
グループ 事業内容	株式会社マルマエ ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工、組立 ・精密機械部品の設計及び製作 ・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売 ・精密機械部品及び機械装置の点検、修理 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
	KMアルミニウム株式会社 ・アルミニウムのインゴット、ビレット、スラブ、合金の製造・販売 ・高純度アルミニウム地金の製造・販売 ・建具・板金工事業 ・前各号に付帯関連する一切の事業

発行済株式総数※	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	11,593名	
大株主※ （普通株式）	前田 俊一	4,455,508株
	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口）	884,500株
	NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB) （常任代理人）	576,000株
	前田 美佐子	504,000株
	株式会社日本カストディ銀行 （信託口）	224,500株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	169,000株
	BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) （常任代理人）	163,954株
	MORGAN STANLEY & CO. LLC （常任代理人）	139,086株
	JPMSPLC CLIENT ASSETS CL JPY （常任代理人）	129,800株
（注）自己株式が377,755株あります。 （2026年2月28日現在）		

※2026年4月1日付で実施した株式分割(1：2)前の数値

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、当グループ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様に当グループの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当グループは一切責任を負うものではありません。

お問い合わせはこちら

株式会社マルマエ 管理本部管理部人事・企画課 IR担当

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Mail ir@marumae.com

▲ 出水事業所

〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地

<https://www.marumae.com/index.html>

道を究め、未知に挑む。

MARUMAE



道を究め、未知に挑む。

marumae

